

令和4年度

No.2

京都嵯峨学園だより

令和4年10月 発行

京都嵯峨学園 夏季合同研修会 開催

8月18日(木)に嵯峨中学校におきまして、嵯峨中学校、嵯峨小学校、嵐山小学校、広沢小学校の教職員が集まり、京都嵯峨学園夏季合同研修会を行いました。

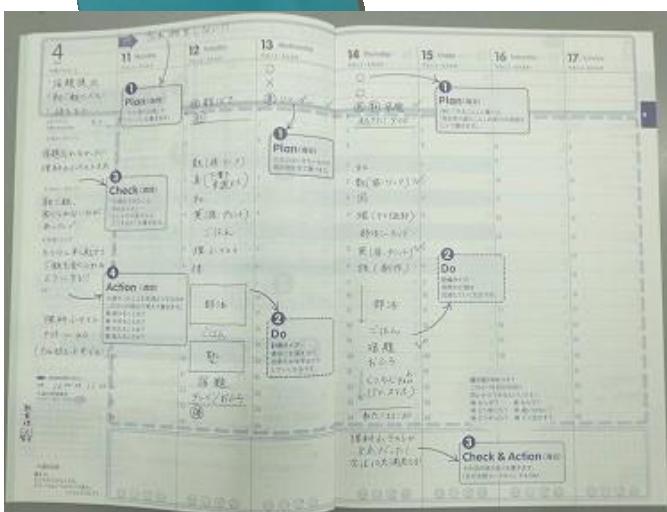
～「エスノート」についての研修～

今年度は、3 小学校の 6 年生と嵯峨中学生が取り組んでいる「エスノート」について、株式会社 FCE エデュケーションの細見 光寿様を講師としてお招きし、講演をいただきまし



た。講演では京都嵯峨学園がエスノートを使うこととなった歴史やエスノートの有効性、意義などを教えていただきました。

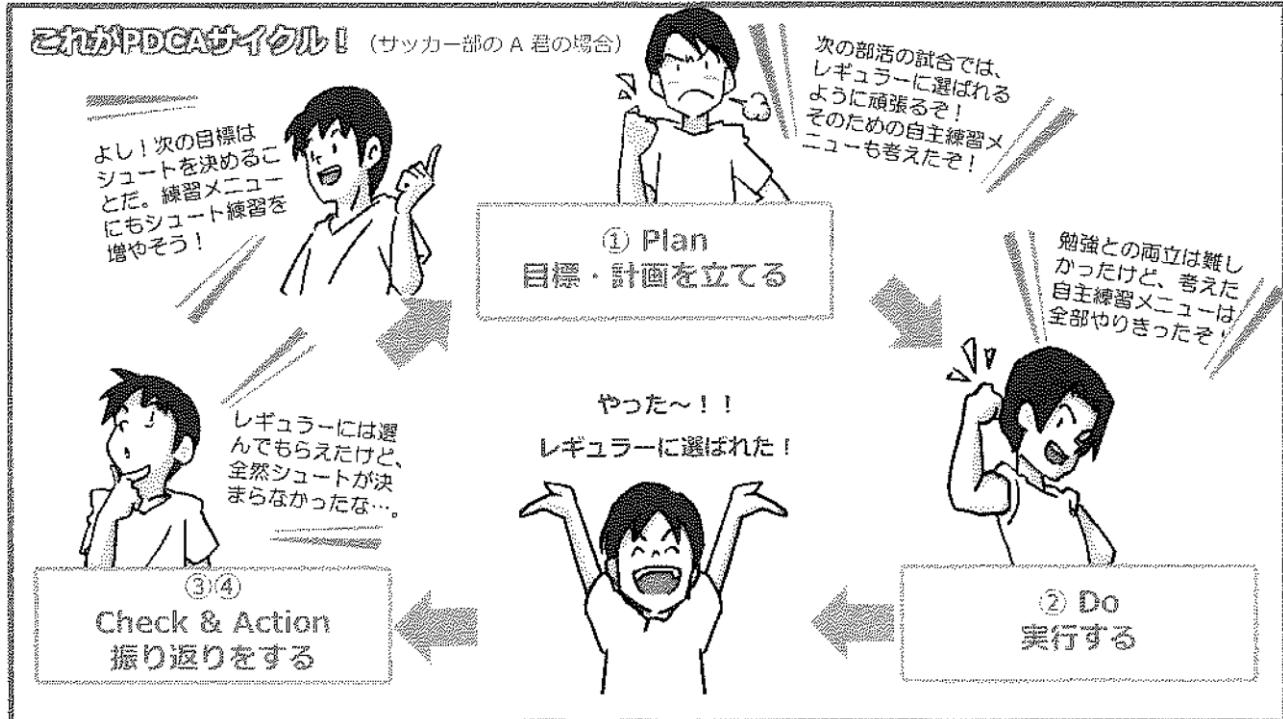
エスノートは、手帳に予定や振り返りを書くことでセルフマネジメントの力をつけることができます。セルフマネジメントとは、「よい結果を生み出すために、自分自身をコントロールしていくこと」を意味します。セルフマネジメントの基本となる考え方が PDCA サイクルというものです。(裏面参照)



エスノートを書くことで、自然に PDCA サイクルが回せる仕組みになっています。そして、エスノートを書くことによって、自分に自信をもてるようになり、自ら学ぶ力がつくことをねらっています。



この研修を生かして、エスノートをまだ使っていない 5 年生以下もその仕組みを取り入れて、自ら学ぶ力をつけさせてほしいと思います。



株式会社 FCE エデュケーション「セルフマネジメントナビ」より

～「LD等通級指導教室」についての研修と各校の取組の交流～

研修の後半は各校に設置されている「LD等通級指導教室」についての研修を行いました。LD等通級指導教室では、自分に合った学習方法を学んだり、コミュニケーションの図り方について考えたりする学習などを行っています。どのように学習が進められているのか、また、その方法はどんなものなのかを教職員で研修しました。子どもたちがどこで躊躇しているのか、どう関わればよいのかを丁寧に見取り、それぞれの困りを解決するための指導をオーダーメードでプログラムし、力を伸ばしていく取組を研修し、これからの中学生たちへの接し方や支援の方法を学びました。

そして、研修の最後には、それぞれの学校の児童・生徒に合わせた授業の工夫について交流を行いました。各校でのユニバーサルデザイン



(UD)についてや、GIGA 端末の有効的な使い方について、また、個に応じた学習の進め方についてなど、各校の実態や工夫を交流することで京都嵯峨学園4校の9年間の学びがさらに充実できるようにと研修を行いました。



この研修を通して、京都嵯峨学園4校がさらに連携して取組を進めていくようにしていきたいと思います。